

る り こ う  
寺だより 「瑠璃光」

青葉まつり・第8号 平成20年6月15日  
発行責任者 倉松俊弘・護持会 広報担当 阿部泰治

真言宗 智山派

医王山 阿弥陀院 薬王寺

TEL : 0289-65-5315 FAX : 0289-64-5339

URL : <http://www.yakuohji.or.jp>

ご挨拶

薬王寺 円明院  
住職 倉松俊弘

薫風の候、いかがお過ごしでしょうか？  
今年も薬王寺の境内にある桜が綺麗に咲きました。寒い冬を耐え、春に一斉に咲き、いのち短くして散る。そんな「桜」から無常を教わります。日本人の心を学びます。桜はただひたすらに咲くだけ、それを観る私たちの心が綺麗と感じるだけ、我々の心が澄んでいないと綺麗に見えません。美しいと感じる人は心が清らかである証拠です。常にこの清浄なる心を持ち、かたよらない心で真実を見つめたいものです。

合掌

薬王寺・円明院 本山団体参拝案内

来る六月二十三日(月)から二十五日(水)の三日間、薬王寺・円明院合同で真言宗智山派総本山「智積院」への団体参拝を計画いたしました。ふるってご参加下さい。

記

日時 六月二十三日～二十五日  
場所 京都・智積院 他名所旧跡  
締切日 五月三十一日までに住職まで  
詳細は薬王寺までお問い合わせ下さい。

合掌

法要のご案内 6～9月

7月31日(木) 寺子屋 午前9時～午後4時

小学生を対象に、勤行、作務、写仏に写経、座禅修行の1日体験にトライ！「夏休みの宿題」もOK！費用は無料。

申込受付中です。住職までお声かけください



8月6日(水) 初盆仏供養会 午前11時～

初盆を迎えるご精霊さまのご供養をいたします。初盆の迎え方や、精霊棚、五如来幡について法話をいたします。ご来寺の上、ご焼香ください。

該当されるお檀家様にご案内いたします。



8月13日(水) 迎え盆法要 午前10時

ご精霊様をお迎えし、ご本尊様に感謝する法要です。上記時間に合わせ、ご先祖様のお迎えをしておこなうでしょうか？約15分程度の法要です。



8月16日(土) 送り盆法要 午前10時・午後2時・6時

ご精霊様をお見送りし、ご本尊様に感謝する法要です。午前10時、午後2時、午後6時の3回行います。時間に合わせご来寺ください。



9月22日(月) 大施餓鬼会 午後1時～

当寺恒例の大施餓鬼会(秋季彼岸会)を厳修します。法要に先立ち、本山特派布教師の法話を予定しています。その後、各家先祖代々の霊と有縁無縁の諸霊に祈りを運びます。



## 2月15日(金) 涅槃会 報告



お釈迦さまは紀元前383年、沙羅双樹の林で頭を北にし、右脇を下にし80歳で亡くなりました。お釈迦さまの教えは、私達にこの世で心身を乱し悩ませ、正しい判断をさまたげる心の働き、貪(とん)・瞋(じん)・痴(ち)が煩惱の根源的なものであり、善心を害する3種の煩惱であると説きました。



「貪欲(むさぼり)」「瞋恚(いかり)」「愚痴(仏教の教えを知らないこと、無知)」を略して「貪瞋痴(とんじんち)」、毒にたとえて「**三毒**」といいます。

この三毒を消滅することにより悟りを開き、心が本来の自由を獲得した境地が涅槃です。

本堂の大涅槃図の前で静座し、心静めてお参りをし、涅槃に一步近づいてみては如何でしょうか？

## 3月14日(金) 正御影供法要・春彼岸会法要 報告



弘法大師の祥月命日に行われる「正御影供」を春季彼岸会と併せ法要を行い、37名の方のご来寺をいただきました。本堂に宗祖弘法大師の御影(みえい)をおまつりし、法要が執り行われました。この法要では、「祭文」という独特な節回しで弘法大師への言上がなされました。法要前には、「宗祖弘法大師から学ぼう 第四回」法話「弘法大師のお言葉・名言2」として、「五大に皆響きあり」について住職より法話がありました。

## 4月8日(火) 花まつり・仏生会 報告



新年度を迎え、新社会人、真新しい制服に袖を通した中高生。黄色の帽子を被り、手を繋がれ通学するほどのとした姿がみられる季節となりました。境内の桜も咲き、お釈迦様の誕生を寿ぐ「仏生会」を迎えました。本堂前に誕生仏をおまつりし、甘茶供養を行いました。私達も「心の誕生日」として一步前進してゆきましょう。

8日は、ご本尊・薬師瑠璃光如来さまの縁日でもあり、雨の中早朝から「薬師護摩」が修され、参座した方と、和光会のご奉仕による「薬師粥」と「甘茶」をおいしくいただきました。

毎月8日はご本尊さまのご縁日です。勤行後「薬師粥」のご奉仕があります。是非ともお運びください。

## 一口法話 おかげさまで 第8回「成仏 その5」

今回は、仏になるための修行(六波羅密行)の2番目「持戒波羅密行」の話です。

戒とは自分自身に対する戒めです。そしていろいろな約束事です。人は一人では生きて行くことは出来ません。自分勝手な行動をしては「和」を保つことが出来ません。せっかく友だちと交わした約束事も守らなければ意味がなく、友だちを傷つけてしまいます。もし自分が過ちを犯したり、間違っただら、素直に謝ることが大切です。それを懺悔(仏教ではさんげと読みます)といいます。お経を唱えるとき最初にこの「懺悔の文」をお唱えします。謝ることも大切な修行なのです。

自分のため(自利)だけではなく、他の人のために(利他)尽くすこと(仏教では利他行を重んじます)。相手を思いやる心を持つことそれが仏への道です。

薬王寺では毎週火曜日の朝、持戒波羅密の日として「あやまちはずなおにわび、二度と繰り返さぬように心に決め、よく時間のくぎりをつけ、すすんで規律を守ります。」と唱えています。合掌